

## 【マレーシア】補欠選挙で与党勝利

海外立法情報課 光成 歩

\* 2016年6月18日、半島部スランゴール州とペラ州で行われた下院2議席の補欠選挙で、与党の2候補者が勝利し、与党の議席を維持した。与党優勢の結果を受け、次期総選挙が前倒しされるとの観測も示されている。

### 1 はじめに

2016年6月に行われた下院2議席の補欠選挙は、同年5月7日に実施されたボルネオ島サラワク州の州議会選挙に続く与党勝利という結果となった(注1)。2015年以来、巨額の資金流用疑惑で批判にさらされてきたナジブ政権だが、5月、6月の選挙で相次いで勝利を収めたことで、2018年までに行われる予定の総選挙も与党優位で進められると見られている。以下、補欠選挙の概要とその後の動きを紹介する。

### 2 2016年6月18日の補欠選挙

#### (1) 補欠選挙の背景

補欠選挙は、2016年5月5日にサラワク州で起きたヘリコプター事故により、スランゴール州スンガイ・ブサール選挙区選出のノリア・カスノン(Norih Kasnon)議員及びペラ州クアラ・カンサー選挙区選出のワン・モハンマド・カイリル・アヌアール(Wan Mohammad Khair-il Anuar Wan Ahmad)議員(いずれも与党議員)が死亡したことを受けて行われた。両選挙区は、マレー人が有権者の7割近くを占め、次いで華人が多い(スンガイ・ブサールで24%、クアラ・カンサーで31%)地域である。マレーシアの与党連合「国民戦線」(BN)は、マレー人、華人、インド人政党などからなり、マレー人比率の高い両選挙区では、BNを主導するマレー人政党「統一マレー国民組織」(UMNO)が議員を輩出してきた。しかし、野党連合が躍進した2013年総選挙では、UMNOと同じくマレー人を主な支持層とする全マレーシア・イスラム政党(PAS)がこの2選挙区でも与党を追い上げ、与党はかろうじて議席を維持するにとどまっていた。その後、ナジブ首相は自身の資金流用疑惑により党内の批判にさらされてきたものの、5月7日のサラワク州議会選挙では勝利を収め、党内の動揺を抑えたと評価されている。一方、2013年に躍進した野党連合も、イスラム刑法の導入をめぐる分裂・再編成を経ており(注2)、今回の補欠選挙は、政権交代への期待度が高まった2013年総選挙以降のこうした政治動向を、有権者がどう判断するかを占うものとなった。

#### (2) 補欠選挙の候補者・争点・結果

スンガイ・ブサールでは、与党候補者ブディマン・モハメド・ゾフディ(Budiman Mohd Zohdi)に対し、PAS及びPASから分裂した国民信託党(Amanah)から候補者が出馬し、三つ巴の選挙戦となった。また、クアラ・カンサーでは、死亡した前議員の未亡人マスツラ・モハメド・ヤジド(Mastura Mohd Yazid)、PAS、Amanahの各候補者及び無所属候補者

の計4名が立候補した。選挙戦では、首相の資金流用疑惑、2015年に導入された消費税による物価上昇を取り上げた野党に対し、与党陣営は地元の開発・教育・福祉政策の継続を訴えた（注3）。投票率は2013年選挙から微減したとはいえ両選挙区とも70%を超えた。スンガイ・ブサルでは与党候補者が16,800票を獲得し、2位のAmanah候補者に9,191票の差をつけて圧勝（2013年選挙では2位との差は399票）した。クアラ・カンサーでも与党候補者が12,653票を獲得して2位のPAS候補者に6,969票の差をつけた。野党分裂の影響でマレー人の野党支持者の票が割れたこと、PASによるイスラム刑法をめぐる動き（注4）を受けて野党支持に傾いていた華人票が与党に回帰したこと（注5）等が与党圧勝の要因と見られる。

### 3 選挙後の動向

選挙直後の6月24日、UMNO最高評議会は、ナジブ首相の金銭疑惑を党内で批判していたムヒディン・ヤシン（Muhyiddin Yassin）前副首相とムクリズ・マハティール（Mukhriz Mahathir）前クダ州首相の除籍処分、シャーフイー・アブダル（Shafie Apdal）UMNO副総裁の党員資格停止処分を発表した。ナジブ首相に退陣を迫っていたムヒディン前副首相は、2015年7月に副首相職を解任され、今年2月にはUMNO副総裁職を停止されていた。マハティール元首相の息子であるムクリズ氏は、ナジブ首相批判の急先鋒となっていた元首相とともに首相を批判したことが問題視され、今年2月に不信任案が提出されてクダ州首相を辞任していた。シャーフイー・アブダル氏もその後、7月4日に離党するに至った。

一方、6月27日発表の内閣改造では首相に近い人物が登用された。第2財務相にジョハリ・アブドゥル・ガニ（Johari Abdul Ghani）前副財務相、首相府相（経済企画担当）にアブドゥル・ラフマン・ダフラン（Abdul Rahman Dahlan）前都市福祉・住宅・地方自治相が任命され、ノー・オマル（Noh Omar）下院議員が都市福祉・住宅・地方自治相に、マー・シウ・ケオン（Mah Siew Keong）下院議員がプランテーション産業・商品相に就任した。

注（インターネット情報は2016年7月14日現在である。）

- (1) 補欠選挙で2議席を維持した結果、与党連合「国民戦線」（BN）の下院議席数は133議席（定数222議席）となった。サラワク州議会選挙ではBNが定数82議席のうち72議席を獲得した。
- (2) PAS及び民主行動党、人民正義党の主要野党2党は、野党連合「人民連盟」（PR）を結成し、2013年総選挙・州議会選挙の結果、複数州で政権を握った。しかし、PAS主導の北東部クランタン州政府による、厳格なイスラム刑法導入の動きに華人政党である人民行動党が反発してPRは2015年に解体し、この際PASを離党した進歩派指導者らが新党「国民信託党」（Amanah）を立ち上げた。Amanahは、上述の主要野党2党と新たな政党連合「希望連合」（PH）を結成している。
- (3) “Campaigning on five issues.” *The Star*, 2016.6.14.
- (4) PASは、州でのイスラム刑法導入に関連してシャリーア裁判所の権限を拡大するシャリーア裁判所法改正案を2016年5月に連邦議会に提出した。UMNOも10月以降に法案審議に入ると表明している。
- (5) “Heng quizzes candidate’s support for Hadi’s Bill.” *The Star*, 2016.6.14.及びウェブニュースサイト Malaysiakini の補欠選挙特設ページ <<http://live.malaysiakini.com/by-elections2016/>> を参照。